intuos® 3

PTZ- 431W / 630 / 631W / 930 / 1231W

ユーザーズガイド

Intuosをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機をお使いになる前に、本書をよくお読みになり正しく安全にお使いください。本書を読み終わった後は、保証書とともに、いつでも見ることのできるところに保管しておいてください。

※お使いになる前に「安全上のご注意」（4ページ）を必ずお読みください。

ホームページのご紹介

Intuos ユーザの皆様に、役立つ情報がいっぱいのホームページをご紹介します。ぜひこちらのページをご覧ください。

■ワコムペンタブレットのホームページ

http://tablet.wacom.co.jp/

Intuos3 の操作に役立つ情報を掲載しています。

■ SOFTWARE & TIPS

http://intuos.jp/

「SOFTWARE & TIPS」をクリックしてください。

Intuos3 タブレットの便利な使い方やエクスプレスパッドの活用方法をわかりやすく説明しています。

ワコムペンタブレットユーザ様限定の会員サービスのページです。登録料や会費などは一切無料です。一般の方が閲覧できるページも多数あります。

■ワコムクラブ

http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/

会員限定のさまざまなサービスがご利用いただけます。お得なキャンペーンも多数ご用意しています。

■ワコムストア

http://tablet.wacom.co.jp/store/

ワコムペンタブレットを活用いただく際に役立つアイテムをラインアップしたオンラインショップです。付属品・オプション品・グラフィックソフトなどをご購入いただけるほか、新製品情報もご紹介しています。

■書籍のご案内

http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/book/book_index.html

タブレットを活用するために役立つガイドブックをご紹介します。

目　　次

安全上のご注意

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくために下記のような絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を守ってお使いください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受ける可能性がある内容を示しています。

絵表示の意味

「気を付ける必要があること」を表しています。

「してはいけないこと」を表しています。

「しなければならないこと」を表しています。

⚠警告

■高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない

他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤動作することがあります。

■ 電子機器の使用を禁止された場所では電源を切る

航空機など電子機器の使用を禁止された場所では、他の電子装置に影響を与える場合がありますので、本製品の USB コネクタをパソコンから抜いて電源をオフにしてください。

⚠注意

■ 不安定な場所には置かない

ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本製品を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

■ 重いものを置かない

本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。故障の原因となることがあります。

■ お手入れのときは USB コネクタを取り外す

お手入れのときは、USB コネクタをパソコンの USB ポートから取り外してください。感電の原因となることがあります。

■動作中に金属を載せない

本製品を使用しているときに、本製品の上に金属性のものを載せないでください。誤動作や故障の原因となります。

⚠注意

■ **温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない**

暑い場所（40°以上）や寒い場所（5°以下）に本製品を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本体や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

■ **分解しない**

本製品を分解したり改造しないでください。発熱･発火･感電･けが等の原因となります。
一度でも本製品を分解した場合は、保証が無効となりますのでご注意ください。

■ **水に濡らさない**

水や液体の入ったコップや花びんを本製品の近くに置かないでください。水や液体に濡れると、故障の原因となります。

■ **アルコール、ベンゼン、アセトンなどの有機溶剤でタブレットやペンを拭かない**

ヒビ割れが生じる場合があります。

■ **タブレットやペンを落下させない**

故障の原因になります。

■ **ケーブルを持ってタブレットを持ち上げたり、引っ張ったりしない**

故障の原因になります。

■ **Intuos3 グリップペンについて**

・ 付属の Intuos3 グリップペンで硬いものを叩かないでください。故障の原因になります。
・ 小さなお子様が Intuos3 グリップペンや替え芯などを口の中に入れないようにご注意ください。芯やサイドスイッチなどが抜けて飲み込んだり、また Intuos3 グリップペンが故障する恐れがあります。
・ ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチに無理な力を加えないでください。ペンの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
・ ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチが押された状態で、保管しないでください。故障の原因になります。
・ ペンに磁石や磁気を近づけないようにしてください。誤動作する場合があります。

■ **雷が近くに来ているときは使用を控え、電源を抜く**

落雷により、故障、感電、火災の原因になります。

目の健康のため以下のことにご注意ください。
- 本製品をお使いになるときは、必ず部屋を明るくし、パソコンの画面から十分に顔を離してお使いください。
- 長時間本製品をお使いになるときは、適度に休憩をお取りください。

免責事項について
- 火災や地震、第三者による事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用や使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、データの変化や消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書で説明している以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器、または当社製以外のソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

注意

製品の保証についてのお願い
保証書の保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収証（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

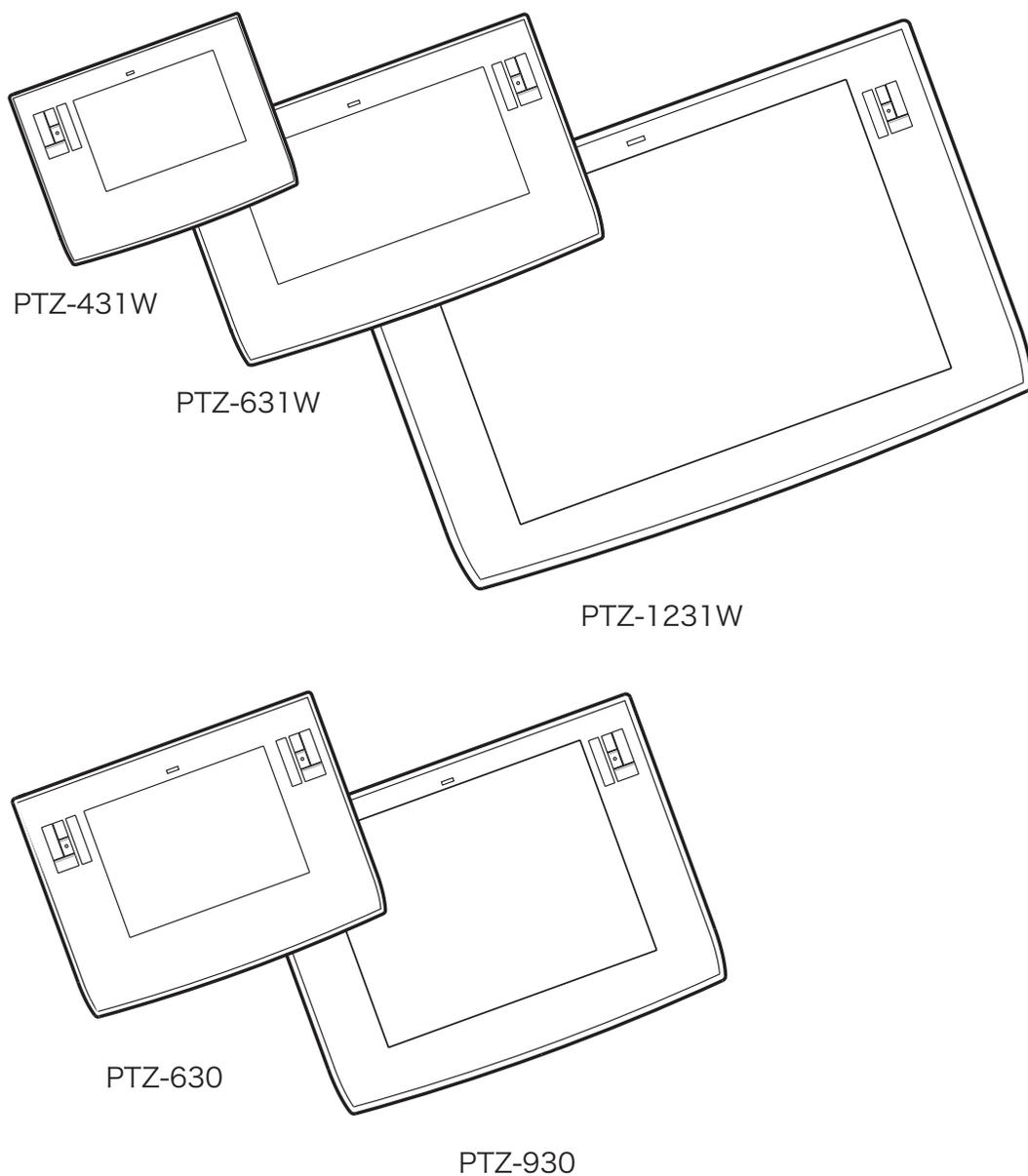
Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。
Windows は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他の製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

ご注意

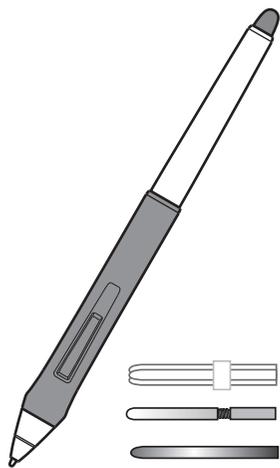
（1） 付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。
（2） タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。
（3） タブレットドライバを含む本製品の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

箱の中身のご確認

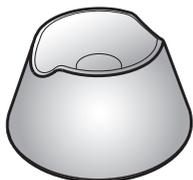
タブレット

お買い上げの製品をご確認ください。

補足 上記のタブレット名の「PTZ-XXX」は、各タブレットの型番になります。ワコムストアで製品をご購入いただく場合やサポートを受ける際に必要になります。

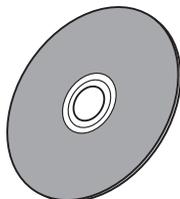
付属品

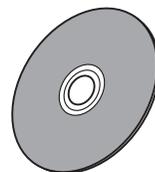
Intuos3 グリップペン / 替え芯 3 種類

標準ポリアセタール芯
３本
ストローク芯１本
フェルト芯１本

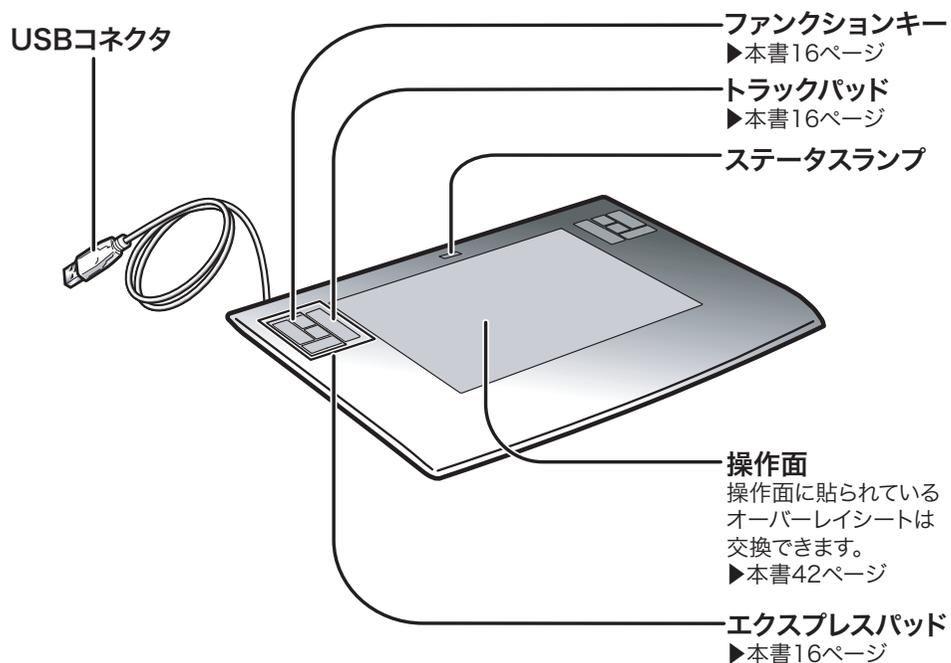
Intuos3 マウス

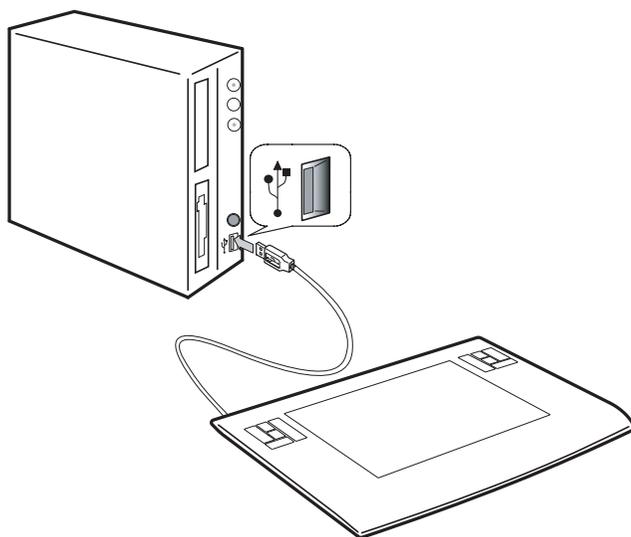
ペンスタンド

ユーザーズガイド / 保証書

保証書

タブレットドライバ CD-ROM

アプリケーションインストールガイド / アプリケーション DVD-ROM

商品構成によって付属品が異なります。

補足 Intuos3 グリップペン、マウス、替え芯はワコムストアでご購入いただけます。

各部の名称

タブレットを接続する

USB コネクタをパソコン本体の
USB ポートに接続します。

注意　USB キーボード、USB ハブやモニタに付属する USB ポートに接続した場合、動作しないことがあります。

タブレットドライバのインストール

タブレットドライバをコンピュータにインストールします。

> **補足**　他のタブレットドライバがインストールされている状態では、Intuos3 シリーズタブレットはお使いになれません。Ver.2.x 以前の当社製タブレットドライバがインストールされている場合もアンインストールしてください（Ver2.x 以前のタブレットドライバをアンインストールするには、これらの製品に付属していたタブレットドライバの CD-ROM からセットアッププログラムを起動して、「はずす」をクリックしてください）。

Windows Vista/XP/2000 でのセットアップ

1 タブレットケーブルの USB コネクタを、コンピュータ本体の USB ポートに接続します。
▶本書 9 ページ

2 タブレットドライバの CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

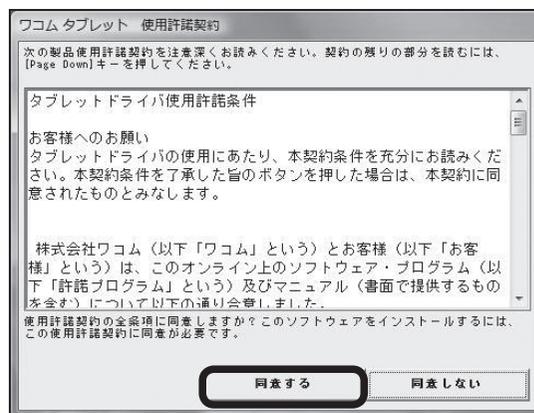
> **重要**
> ・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。
> ・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

Intuos3 のインストールメニューが表示されます。「タブレットのインストール」をクリックします。
インストールメニューが表示されない場合、「スタート」メニュー→「コンピュータ」または「マイコンピュータ」→「TABLET_CD」をダブルクリックします。

3 「使用許諾契約」ダイアログが表示されます。「同意する」をクリックします。

4 インストールの進行状況が表示されます。

5 「タブレットドライバは正しくインストールされました。」と表示されます。「OK」をクリックします。
「今すぐ WACOM クラブへご登録を！」という画面が表示されます。

6 タブレット付属のペン、またはマウスでポインタが動作するかどうか確認してください。

ポインタが動作すれば、タブレットは正常に動作しています。本書 12 ページの「ペンタブレットの使い方」へ進んでください。

> **補足**　インストールメニューのテクニカルノートをクリックすると、本書に記載されていない最新情報が書かれていることがあります。必ずお読みください。

Mac OS X（10.3.9 以降）でのセットアップ

注意 インストールを始める前に、すべてのアプリケーションを終了してください。また、Norton AntiVirus などのウィルス監視プログラムが起動されていると、インストール中にインストールの許可を求めるメッセージが何回も現れることがあります。あらかじめ、ウィルス監視プログラムを、一時的に OFF にしておくとよいでしょう。

1 タブレットケーブルの USB コネクタを、コンピュータ本体の USB ポートに接続してください。
▶本書 9 ページ

2 タブレットドライバの CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットしてください。

3 デスクトップ上の CD-ROM をダブルクリックして開き､「インストール」をダブルクリックします。インストールメニューが表示されますタブレットのインストール」をクリックします。

4「続ける」をクリックしてください。

5「続ける」をクリックします。画面の指示に従ってインストールを進めてください。

6 途中、「認証」ダイアログが表示されます。名前とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

補足 パスワードとは Macintosh ログイン用のパスワードです。

7「閉じる」をクリックしてインストールを終了します。次にペン、またはタブレット付属のマウスでポインタが動作するかどうか確認してください。ポインタが動作すれば、タブレットは正常に動作しています。

補足 インストールメニューのテクニカルノートをクリックすると、本書に記載されていない最新情報が書かれていることがあります。必ずお読みください。

タブレットドライバのアンインストール

Windows の場合

1 Windows のスタートボタンからコントロールパネルを開いて、「プログラムと機能」または「プログラム（アプリケーション）の追加と削除」のアイコンをダブルクリックしてください。

2 リストの中から「タブレット」を選択し、「アンインストール」または「変更（追加）と削除」のボタンをクリックしてください。
Windows を再起動すると、ドライバが削除されます。

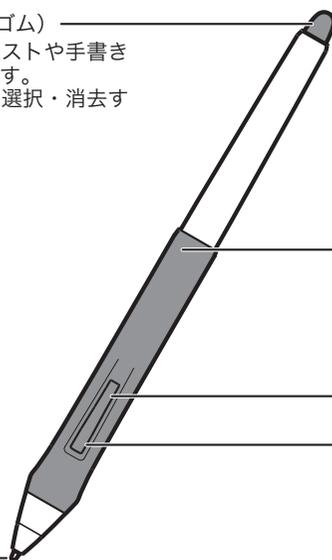
Macintosh の場合

1「アプリケーション」フォルダの中の「ワコムタブレット」フォルダを開いてください。

2「ワコムタブレットを外す」を起動し、「タブレットドライバの削除」ボタンをクリックします。システムを再起動してください。

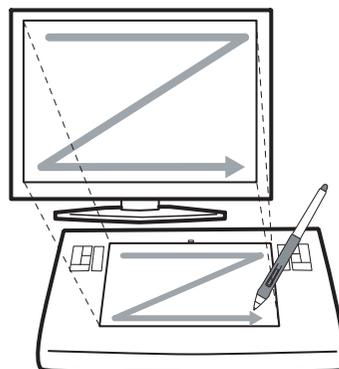
ペンタブレットの使い方

ペンの使い方

各部の名称とはたらき

スイッチの機能（お買い上げ時の設定）

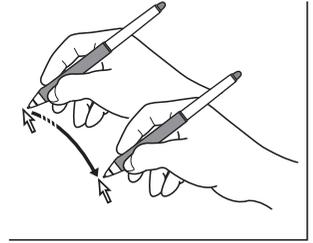
	Windows	Macintosh
サイドスイッチ	右ボタンクリック	右ボタンクリック
セカンドサイドスイッチ	ダブルクリック	ダブルクリック

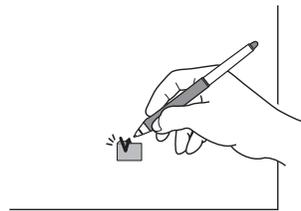
操作面について

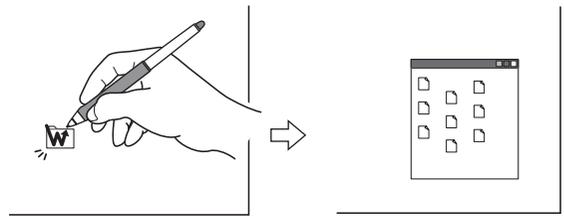
ペンとマウスでは動作に違いがあります。ペンの場合、タブレットの操作面とモニタ画面が１：１で対応します。例えば、ペンをタブレット上の左下に置いた場合、モニタ画面上にあるポインタカーソルも、モニタ画面の左下に位置します。これを絶対座標動作といいます。マウスの場合、移動した距離に応じてポインタが移動します。これを相対座標動作といいます。

注意　タブレットは常に１つのデバイス（ペンまたはマウス）を識別するようになっています。複数のデバイスがタブレット上にあると、誤動作の原因になります。タブレットの上に複数のデバイスを置かないようにしてください。

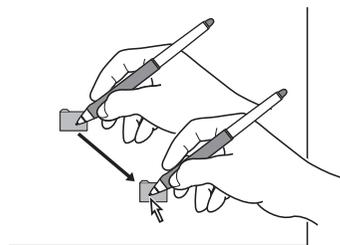
ペンの基本操作

ポインタの移動

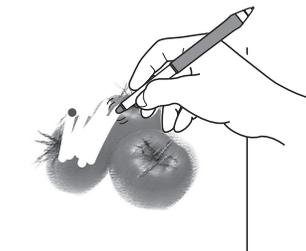
画面から少し浮かせながらペンを動かすと、画面のポインタが移動します。

クリック、ダブルクリック

クリック
ペン先で画面を軽く１度たたきます。

ダブルクリック
ペン先で同じ場所を連続で２度たたきます。

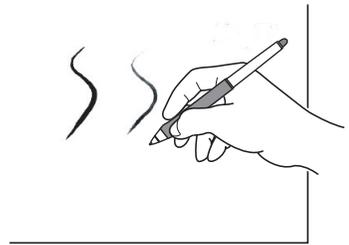
標準設定でセカンドサイドスイッチにダブルクリックが設定されています。

ドラッグ

アイコンやフォルダを選択し、ペン先を押し付けたままペンを動かします。

消しゴムを使う

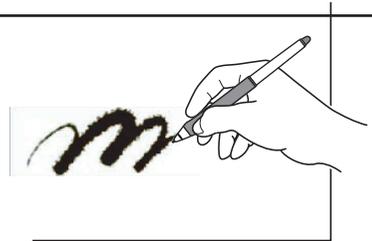
消しゴム機能を設定してタブレット上をなぞると、絵や手書き文字が消しゴムで消したように消えます。

消しゴム対応のアプリケーションでお使いになれます。

筆圧を使う

ペン先に加える力（筆圧）の強弱により、線の太さや色の濃淡などを調整することができます（ペンの筆圧機能に対応したアプリケーションのみ）。

補足　筆圧対応のアプリケーションでお使いになれます。

傾きを使う

ペンを傾けることで、ブラシサイズや不透明度などを変化させることができます。傾きに対応したアプリケーションで働きます。

補足　傾き対応のアプリケーションでお使いになれます。

補足　筆圧、傾きに対応しているアプリケーションについては、ワコムのホームページをご覧ください。
ワコムのホームページ http://tablet.wacom.co.jp/application/application_index.html

絵や文字を描く

付属のアプリケーションや市販のペイントアプリケーションを起動し、ペンで操作面上に絵や文字を描きます。各アプリケーションの機能に応じて、鉛筆やブラシなどを切り替えてお使いください。

補足
- 付属のアプリケーションのインストール方法や起動方法については、「アプリケーションインストールガイド」をご覧ください。
- 市販のペイントソフトのインストールや起動方法については、ソフトに付属の取扱説明書やヘルプをご覧ください。

マウスの使い方

各部の名称とはたらき

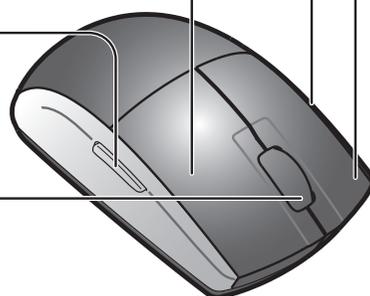
マウスボタンは、使い方に合わせて機能を設定することができます。お買い上げ時の設定は下の表を、設定の変更の仕方は 20 ～ 22、24 ページをご覧ください。

左ボタン
・設定された機能をワンクリックで使うことができます。

第 4 ボタン
・インターネットブラウザの「戻る」（一つ前のページに戻ります）機能が設定されています。

右ボタン
・設定された機能をワンクリックで使うことができます。

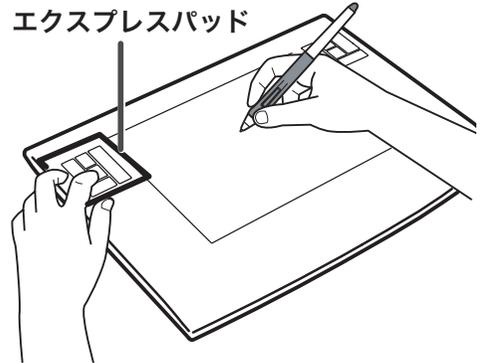
第 5 ボタン
・インターネットブラウザの「進む」（「戻る」で切り換わる前に表示されていたページが開きます）機能が設定されています。

中ボタン
・設定された機能をワンクリックで使うことができます。
・画面をスクロールすることができます（ホイール機能）

ボタンの機能（お買い上げ時の設定）

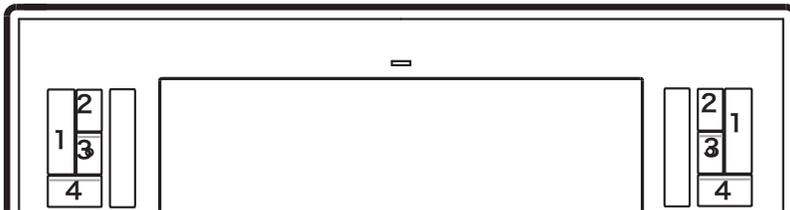
	Windows	Macintosh
左ボタン	クリック	クリック
中ボタン	中ボタンクリック	中ボタンクリック
右ボタン	右ボタンクリック	右ボタンクリック
第 4 ボタン	インターネットブラウザの「戻る」(一つ前のページに戻ります) 機能が設定されています。	
第 5 ボタン	インターネットブラウザの「進む」(「戻る」で切り換わる前に表示されていたページが開きます) 機能が設定されています。	

注意
マウスを使用しないときは、タブレットの上に置かないようにしてください。タブレットの上にマウスを置いたまま、ペンを使用すると、ポインタが正常に動作しない場合があります。コンピュータの節電モードの妨げにもなります。

タブレットの使い方

ペンを使いながら、もう片方の手でエクスプレスパッド（トラックパッド、ファンクションキー▶本書 9 ページ）を操作してショートカット機能などを使うことができます。

エクスプレスパッドの使い方

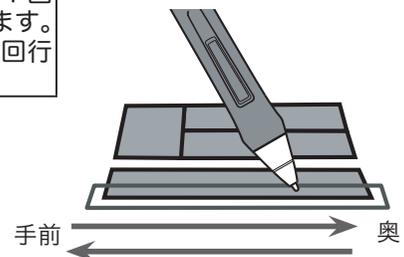
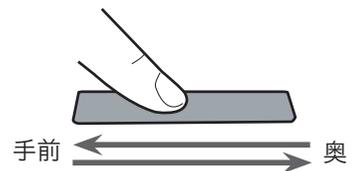
■ファンクションキーを使う

ファンクションキーには標準設定で次のキーが割り当てられています。ファンクションキーはカスタマイズすることができます。▶本書 30 ページ

	1	2	3	4
Windows	[Ctrl] キー	[Shift] キー	[Alt] キー	スクロール／移動
Macintosh	[⌘] キー	[shift] キー	[option] キー	スクロール／移動

■トラックパッドの使い方

トラックパッドの上で指を滑らせて使います。標準設定では、グラフィックアプリケーションでズーム機能が働き、他のアプリケーションではスクロール機能が働きます。他の機能が働くようにカスタマイズすることもできます。▶本書 31 ～ 32 ページ

3 つの方法でトラックパッドを操作できます。

操作	操作方法
通常操作	指を上下に滑らせます。拡大／縮小操作を交互に行ったり、上下にスクロールできます。
連続操作	トラックパッドの端を指で押し続けます。操作がずっと続きます。
1 回のみの操作	トラックパッドの端を指で押して放します。1 回の操作につき 1 度だけ操作を行うことができます。例えば、1 回押して放すと、ズーム操作が 1 回行われます。

トラックパッドの内側はペン先でも操作することができます。

コントロールパネルの使い方

コントロールパネルでタブレット、ペン、マウスの機能を設定できます。

コントロールパネルの開き方

■ Windows での開き方

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」（Windows 2000 は「プログラム」）→「ワコムタブレット」→「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。

注意

タブレット設定ユーティリティについて
タブレット設定ユーティリティはコントロールパネルの設定を初期化します。ポインタの操作がおかしくなったときなどにお使いください (37 ページ参照)。

■ Macintosh での開き方

アップルマーク→｢システム環境設定｣を選択します。｢ワコムタブレット｣アイコンをクリックします。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを開いてください。（▶本書 17 ページ）

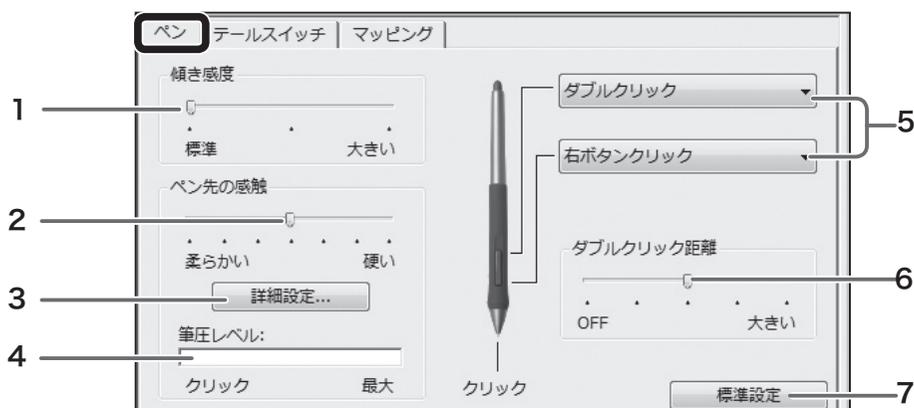
番号	設定項目	内容
1	タブレット	現在、登録されているタブレットが表示されます。選択すると、青色の枠で囲まれて、変更を行うことができます。
2	入力デバイス	ファンクションアイコンと現在、登録されているペンとマウスが表示されます。選択すると、青色の枠で囲まれて、変更を行うことができます。
3	アプリケーション	現在、登録されているアプリケーションが表示されます。選択すると、青色の枠で囲まれて、変更を行うことができます。
4	オプション *	「オプション設定」ダイアログを表示します。
5	タブレットについて	タブレットとタブレットドライバの情報が表示されます。タブレットの診断をするには、「診断」ボタンをクリックします。▶オンラインマニュアル 60 ページ
6	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。
7	ヘルプ	オンラインマニュアルを見ることができます。▶本書 42 ページ

補足

＊標準設定では、ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチを押すと、設定された機能が働きます。「サイドスイッチエキスパートモード」は、サイドスイッチを押しながら、ペン先でクリックしたときにサイドスイッチに設定された機能（例えば右ボタンクリックや中ボタンクリック）が働きます。右ボタンや中ボタン操作での細かい位置決めが必要なときに、「浮かした状態でのクリック」が有効です。コントロールパネルの下の「オプション」ボタンを選択して、「オプション」ダイアログボックスを表示して設定します。

ペンの設定を変更する

ペンでコントロールパネルを開いてください

ペンのタブ

番号	設定項目	内容
1	傾き感度	傾き検出機能対応のアプリケーションで設定できます。 ・大きい　:大きくペンを傾けなくても、傾きが検知されます。 ・標準　　: 標準的な傾きが検知されます。
2	ペン先の感触	ペン先の筆圧感知を 7 段階に設定できます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・柔らかい ：より軽く押して検知することができます。 ・硬い　　 ：より強く押して検知することができます。
3	詳細設定	「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。ペン先の感触を細かく設定できます。▶本書 23 ページ
4	筆圧レベル	ペン先でタブレットを押して、現在の筆圧の設定をテストします。
5	セカンドサイドスイッチ設定 サイドスイッチ設定	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。 機能の詳細は「スイッチとボタンの設定」(▶本書 20 ～ 22 ページ) をご覧ください。
6	ダブルクリック距離	ダブルクリックの 1 度目と 2 度目のクリック間の距離を 5 段階に設定できます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・小さい : より狭い範囲での 2 度のクリックをダブルクリックと認識します。 ・大きい : より広い範囲での 2 度のクリックをダブルクリックと認識します。
7	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

補足

・「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックアプリケーションでは、この設定をお勧めします。

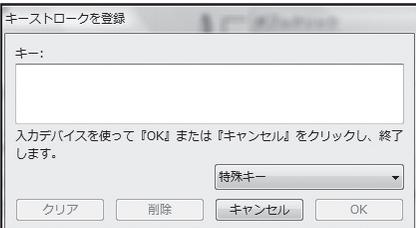
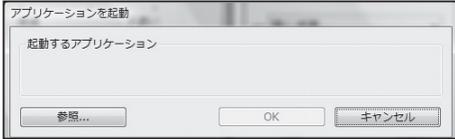
・アプリケーションによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけで画面に大きく広がったりします。このような場合は、ペン先の感触の設定を硬くしてみてください。

補足 現在、傾き検出機能をサポートするアプリケーション、傾きの使い方についてはワコムのホームページをご覧ください。

ワコムのホームページ http://tablet.wacom.co.jp/

スイッチとボタンの設定

重要 設定できる機能は、ペン、マウスおよびファンクションキーのスイッチやボタンによって異なります。

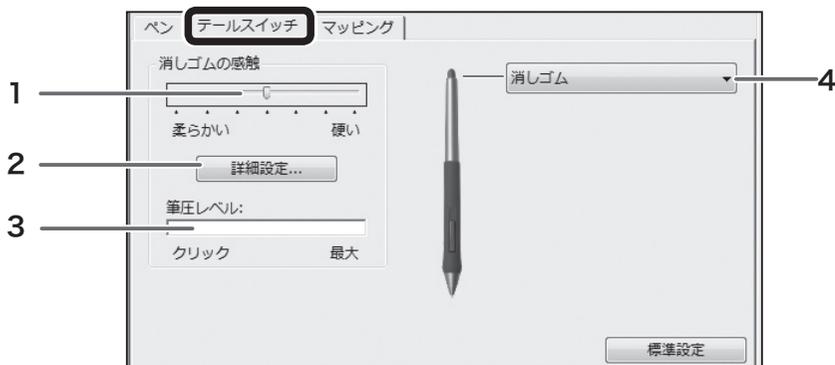
<table>
<tr><th colspan="2">機能名</th><th rowspan="2">内容</th></tr>
<tr><th>Windows</th><th>Macintosh</th></tr>
<tr><td colspan="2">クリック</td><td rowspan="3">通常のマウスのボタンクリックと同じ働きをします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">中ボタンクリック</td></tr>
<tr><td colspan="2">右ボタンクリック</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダブルクリック</td><td>ワンタッチでダブルクリックの働きをします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">クリックロック</td><td>ワンタッチでマウスの左ボタンを押し続ける働きをします。ドラッグするときに便利です。解除するときはスイッチ (または ボタン) を押すかペン先でクリックします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">第４ボタンクリック</td><td>マウスの第４ボタンと同じ働きをします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">第５ボタンクリック</td><td>マウスの第５ボタンと同じ働きをします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キーストローク ...</td><td>ワンタッチで任意のキーの組み合わせを押す働きをします。
選択すると下の画面が表示されますので、任意のキーの組み合わせをキーボードから入力し「OK」をクリックしてください。
※ Shift、Alt、Ctrl キーのどれかを入力する場合は、必ず文字キーも入力してください。
例：コピー機能：「Ctrl」+「C」を入力
　　ペースト機能：「Ctrl」+「V」を入力
キーストロークを登録
キー:
入力デバイスを使って『OK』または『キャンセル』をクリックし、終了します。
特殊キー
クリア　削除　キャンセル　OK
注意：「Shift」と「Alt」のみだけでは登録できません。このような組み合わせの場合は、下記の修飾キーをお使いください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">修飾キー ...
■ Windows の場合
※ Shift、Alt、Ctrl キーの代わりをします。
■ Macintosh の場合
※ shift、option、⌘、control キーの代わりをします。</td><td>ワンタッチで、左のキーのどれか、または全部を同時に押す働きをします。
選択すると下の画面が表示されますので、任意のキーにチェックを付け「OK」をクリックしてください。
Shift、Alt、Ctrlキーの登録
Shift
Alt
Ctrl
クリック
キャンセル　OK</td></tr>
</table>

機能名		内容
Windows	Macintosh	
マッピング画面切り替え (マルチモニタ環境で使用の場合)		マッピング画面切り替え機能を設定します。詳細は 30 ページをご覧ください。
スクロール／移動 ...		ハンドツールが使えるアプリケーションでは、ハンドツールで、開いているファイルや画像をウィンドウの中で自由に移動させることができます。ハンドツールが使えないアプリケーションでは、上下左右の画面のスクロールになります。スクロールの速度は 5 段階に設定できます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・遅い : スクロールの速度をより遅く設定します。 ・速い : スクロールの速度をより速く設定します。 アプリケーションのなかには、スクロールが縦方向にしか働かないものがあります。
ペン⇔マウスモード		ワンタッチでペンモードとマウスモードを切り替えます。 ・ペンモード　 : 表示エリアと操作エリアが 1:1 で (絶対座標) 対応します。 ・マウスモード : ペンの動いた距離と同じだけポインタが画面上を移動します。 ※ 初めて設定したときは、ペンモードまたはマウスモードの詳細画面が表示され、ポインタの速度等を設定することができます。
戻る		インターネットブラウザなどの「戻る」機能が設定されます。
進む		インターネットブラウザなどの「進む」機能が設定されます。
タスク切り替え		起動中のアプリケーションが一覧表示されます。使いたいアプリケーションを指定すると、画面の手前に表示されます。
Tablet PC 入力パネル ※ Windows Vista Home Basic 除く		Windows Vista とタブレット PC でお使いになれます。ワンタッチでタブレット PC 入力パネル (手書き入力パネル) を表示します。
Windows Journal ※ Windows Vista Home Basic 除く		Windows Journal は Windows Vista とタブレット PC に搭載されるアプリケーション (手書きメモ帳) です。ワンタッチで Windows Journal を開きます。
開く／起動…		ワンタッチで任意のアプリケーションやファイルを開くことができます。 選択すると下の画面が表示されますので、「参照」をクリックして任意のアプリケーションやファイルを選択し「起動するアプリケーション」欄に表示させたら「OK」をクリックしてください。
筆圧一定		スイッチが押されている間、筆圧を一定に保ちます。同じ太さの線を引くときなどに便利です。
ポップアップメニュー		ワンタッチであらかじめ登録されたポップアップメニューを呼び出すことができます。メニューの内容はポップアップメニューのコントロールパネルで設定します▶本書 32 ～ 33 ページ
消しゴム		ペン先で消しゴム機能が使えます。
Ink 文字認識 ON/OFF(Macintosh のみ) ※ OS X 10.2 以降のみ表示されます。		Inkwell 文字入力の ON/OFF を選択することができます。 【Inkwell とは・・・】 Inkanywhere 機能をオンとオフに切り換えます。オンにすると、筆跡が認識されるようになり、テキストがドキュメントに挿入されます。Inkwell の詳細については、Macintosh のヘルプや Apple 社のホームページをご覧ください。
デスクトップの表示		ワンタッチで開いているウィンドウをすべて最小化します。

機能名		内容
Windows	Macintosh	
Exposé(Macintosh のみ)		画面に開いているウィンドウをタイル表示します。
アプリケーションの設定に従う		アプリケーションにボタンの数のみ知らせます。この機能は、CAD プログラムのように、Intuos3 マウスに対するサポートが組み込まれたアプリケーションで働きます。
無効		スイッチ、キーを使えなくします。
標準設定		クリックすると、全ての設定が標準（お買い上げ時の設定）に戻ります。

補足

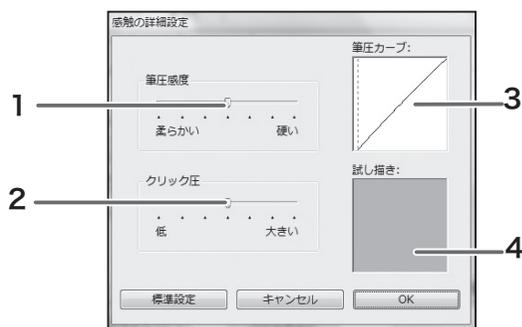
「クリックロック」「キーストローク ...」「Shift、Alt、Ctrl キー ...」「筆圧一定」に設定したとき

スイッチとペン先を同時に押すと、スイッチが働かないことがあります。この場合は、ペン先を浮かせながらスイッチを押してください (中指の先を操作面につけながらペン先を浮かせると、安定してスイッチを押すことができます)。

テールスイッチの設定を変更する

消しゴムの感触を調整します。

番号	設定項目	内容
1	消しゴムの感触	消しゴムの設定を変更できます。 ・柔らかい　：軽いタッチで消すことができます。 ・硬い　　　：力を入れて消します。
2	詳細設定	「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。▶下記参照
3	筆圧レベル	消しゴムの筆圧をテストします。
4	テールスイッチ機能	テールスイッチを押したときに働く機能を設定します。

感触の詳細設定

「ペン」または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

番号	設定項目	内容
1	筆圧感度	筆圧の大きさ変更できます。 ・柔らかい　：より軽く押して検知することができます。 ・硬い　　　：より強く押して検知することができます。
2	クリック圧	ペン先でのクリックに必要な荷重を設定できます。
3	筆圧カーブ	筆圧感度の曲線とクリック圧の設定が表示されます。急激な増加を示す曲線は、ペンの感度が高いことを表しています。
4	試し描き	試し描きして、設定内容をテストできます。

参考

「ペン」タブでのペン先の感触の設定、または「テールスイッチ」タブでの消しゴムの感触の設定は、「感触の詳細設定」ダイアログでの筆圧の設定よりも優先されます。「感触の詳細設定」ダイアログで設定を行ってから、これらの設定を変更すると、詳細設定の内容は無効になります。

マウスの設定

「マウス」タブをクリックすると表示されます。

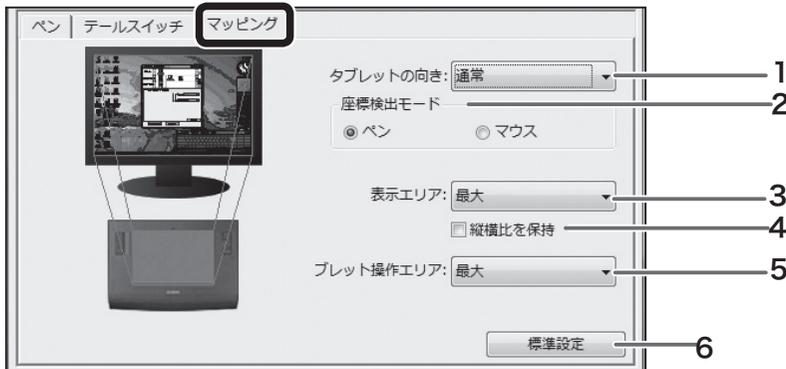
マウスのタブ

<table>
<tr><th>番号</th><th>設定項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>左ボタン設定</td><td colspan="2" rowspan="5">ボタンに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。
機能の詳細は「スイッチとボタンの設定 (▶本書 21 ～ 22 ページ)」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>第 4 ボタン設定</td></tr>
<tr><td>3</td><td>右ボタン設定</td></tr>
<tr><td>4</td><td>第 5 ボタン設定</td></tr>
<tr><td>5</td><td>中ボタン設定</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="3">ホイール</td><td>スクロール</td><td>●スクロールスピードを次の 7 つから選ぶことができます。
・とても遅い　：スクロール、ズーム操作がとてもゆっくりになります。
・遅い　：スクロール、ズーム操作がゆっくりになります。
・中　：いつも通りの速さでスクロール、ズーム操作を行います。
・速い　：スクロール、ズーム操作を速くします。
・とても速い　：スクロール、ズーム操作をとても速くします。
・ページ　：ページ単位でスクロールします。
●スクロールしながら、以下のキーを押すことができます。アプリケーション内でのズーム操作や他の動作を作成するのに使えます。
・Windows：「Ctrl」、「Alt」、「Shift」
・Macintosh：「option」、「⌘」、「control」、「shift」</td></tr>
<tr><td>キーストローク</td><td>ボタンを押して、キーストロークを設定します。
キーストロークの設定については、本書 21 ページをご覧ください。
↑
↓
ボタン</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>ホイールを使えなくします。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>標準設定</td><td colspan="2">クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。</td></tr>
</table>

タブレットを画面にマッピングする

> **注意**
>
> **「ペンモード」「マウスモード」は、ペンまたはマウスのどちらをお使いの場合にもそれぞれ設定できます。**
>
> ・ペンモードでマウスを使うと、操作エリアと表示エリアは 1:1 で対応します。
>
> ・マウスモードでペンを使うと、操作面上でペンが動いた距離と同じだけ画面上のポインタが動きます。

ペンモード

ペンに対する標準設定の「座標検出モード」は、「ペン」モードです。

番号	設定項目	内容
1	タブレットの向き	タブレットの向きを変更できます。 通常　：タブレットの向きは横向きで、ステータスランプの位置は上側になります。これは標準設定です。 時計回り 90°　：タブレットを時計回りに９０°回転させます。ステータスランプの位置は右側になります。 逆さ　：タブレットを１８０°回転させます。ステータスランプの位置は下側になります。 反時計回り 90°：タブレットを反時計回りに９０°回転させます。ステータスランプの位置は左側になります。
2	座標検出モード	ペンモードとマウスモードを切り替えます。設定したいモードにチェックを付けてください。 ・ペンモード　：表示エリアと操作エリアが 1:1 で対応します。 （絶対座標） ・マウスモード：ペンまたはマウスの動いた距離と同じだけポインタが画面上を移動します。
3	表示エリア	画面上の表示エリアの設定を変更できます。 ・最大　：ディスプレイ全体を表示エリアに設定します（お買い上げ時の設定）。 ・一部領域：ディスプレイ画面の一部分を表示エリアに設定します。「一部領域」を選択すると、「画面の一部分」画面が表示されます。表示エリアを任意に設定してください（「画面の一部を表示エリアに設定する」▶ 26 ページ）。 ・モニタ 1、モニタ 2…: 接続されている各モニタに操作エリアが 1：1 で割り当てられます。

コントロールパネルの使い方

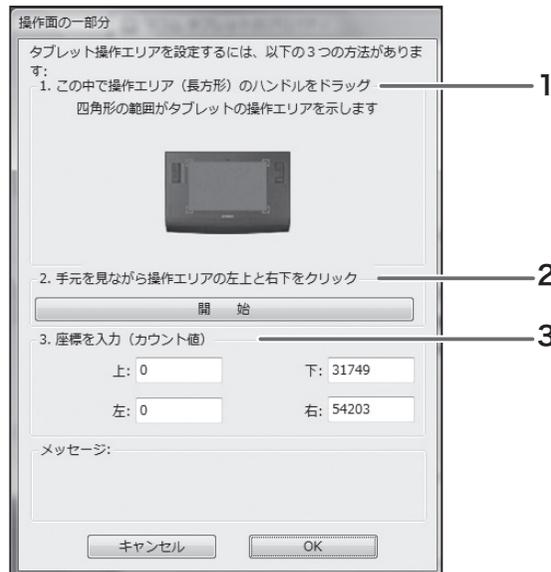
番号	設定項目	内容
4	縦横比を保持	操作エリアと表示エリアの縦横比を同じにするかどうか設定します。 ・ 縦横比を同じにするときは ...... 「縦横比を保持」にチェックを付けます。操作エリアを設定すると、表示エリアも自動的に同じ縦横比で設定されます。 ・ 縦横比を変えるときは ...... 「縦横比を保持」のチェックを外します。操作エリアと表示エリアを個別に設定できます。縦横比が異なる場合は、操作エリアに描いたものより縦長、または横長な画像が表示エリアに表示されます。
5	タブレット操作エリア	操作面上の操作エリアの設定を変更できます。任意の設定にチェックを付けてください。 ・最大　　:操作面全体を操作エリアに設定します (お買い上げ時の設定)。 ・一部領域 : 操作面の一部分を操作エリアに設定します。「一部分」にチェックを付けた後、「設定 ...」をクリックし、操作エリアを任意に設定してください (「操作面の一部を操作エリアに設定する（▶本書 27 ページ)」をご覧ください)。 ・左クイックポイント、右クイックポイント（PTZ-930、1231W で使うことができます。）: 操作エリアを描画のための大きな領域（描画エリア）とメニューの選択や機能の実行などの操作を行う小さな領域（クイックポイントエリア）に分けます。▶本書 28 ページ
6	標準設定	クリックすると、すべての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

■　画面の一部を表示エリアに設定する

指定した画面の一部分を表示エリアに設定できます。

番号	設定項目	内容
1	1. この中で表示エリア (長方形) のハンドルをドラッグ	イラストの画面上の赤色の枠が表示エリアを表します。 ・四隅の□をドラッグして、枠の大きさを調整できます。 ・枠をドラッグして、表示エリアの位置を決めます。 ・決定したら「OK」をクリックします。
2	2. 画面を見ながら表示エリアの左上と右下をクリック	「開始」をクリックします。メッセージに従って直接画面をクリックし、表示エリアを指定します。決定したら「OK」をクリックします。 **注意：**メッセージボックスに表示されるメッセージは、必ずお読みの上設定を行ってください。
3	座標を入力 (ピクセル値)	表示エリアの上端、下端、左端、右端のピクセル値を入力します。値は、画面上部の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

■ 操作面の一部を表示エリアに設定する

指定した操作面の一部分を操作エリアに設定できます。

番号	設定項目	内容
1	1. この中で操作エリア（長方形）のハンドルをドラッグ	イラストの操作面上の赤色の枠が操作エリアを表します。 ・四隅の□をドラッグして、枠の大きさを調整できます。 ・枠をドラッグして、操作エリアの位置を決めます。 ・決定したら「OK」をクリックします。
2	2. 画面を見ながら表示エリアの左上と右下をクリック	「開始」をクリックします。メッセージに従ってペンで直接本体の操作面上をクリックし、操作エリアを指定します。決定したら「OK」をクリックします。 **注意：**メッセージボックスに表示されるメッセージは、必ずお読みの上設定を行ってください。
3	座標を入力（ピクセル値）	タブレット操作エリアの上端、下端、左端、右端の座標を入力します。値は、タブレット操作エリア上部の左隅から測定されます。操作面全体を設定した場合の数値は、下記を参考にしてください。メッセージに従って確認してください。

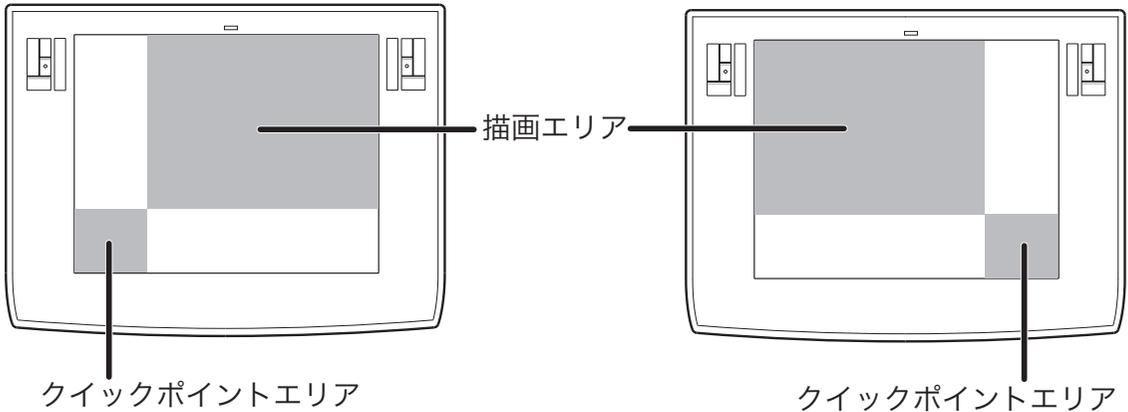
参考

タブレット操作面全体を操作エリアとして設定した場合の座標値は以下のようになります。上記の３番目の方法で操作エリアを設定する場合、参考にしてください。

	上	下	左	右
PTZ-431W	0	19685	0	31496
PTZ-630	0	30480	0	40640
PTZ-631W	0	31750	0	54204
PTZ-930	0	45720	0	60960
PTZ-1231W	0	60960	0	97536

■左クイックポイントエリアと右クイックポイントエリア

左クイックポイントと右クイックポイント（PTZ-930、1231W タブレットで利用することができます）
描画のための大きな領域（描画エリア）と、メニューの選択や機能の実行などの操作を行う小さな領域（クイックポイントエリア）の 2 つに操作エリアを分割します。グラフィックの描画には描画エリアを使い、メニューの選択や機能の実行などの操作にはクイックポイントエリアを使います。これにより、タブレット上で手を大きく動かすことなく、楽に作業が行えるようになります。2 つの領域は、「画面の一部分」ダイアログボックスで定義する表示エリアに割り当てるか、または標準設定で画面全体に割り当てることができます。左クイックポイントと右クイックポイントは、ポップアップメニューから選択したり、または選択を解除したりできます。 詳細については、ポップアップメニューのカスタマイズをご覧ください。

▶本書 32 ～ 33 ページ

補足 クイックポイントエリアと描画エリアは、タブレット作業面の＋マークで指示されます。クイックポイントエリアと描画エリアは、PTZ-930 では 4:3 モニタ (縦横比率 4:3)、PTZ-1231W はワイドモニタ (縦横比率 16:10) と同じ縦横比を持ちます。

マルチモニタに操作エリアを割り付ける

一台のパソコンで複数のディスプレイを同時に使っている (マルチモニタ) 場合は、パソコンのディスプレイの設定に合わせて操作エリアが割り付けられます。

注意 マルチモニタの設定は、ご使用のパソコンによってはうまく機能しない場合がありますのでご了承ください。

お使いのディスプレイでマルチモニタを設定し、続いて操作エリアを割り付けてください。

- **拡張モニタモードの場合 :**
  全てのディスプレイを一つの大きなディスプレイと見なして、操作エリアが割り付けられます。
- **ミラーモードの場合 :**
  全てのディスプレイの画面に操作エリアが割り付けられ、それぞれの画面でポインタが表示されます。

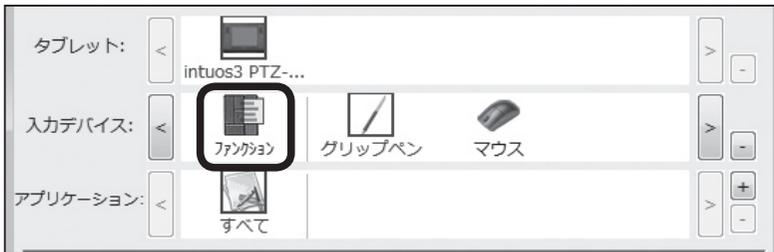
参考 マルチモニタの設定、使いかたについては、お使いのパソコンや OS の取扱説明書をご覧ください。

マウスモード

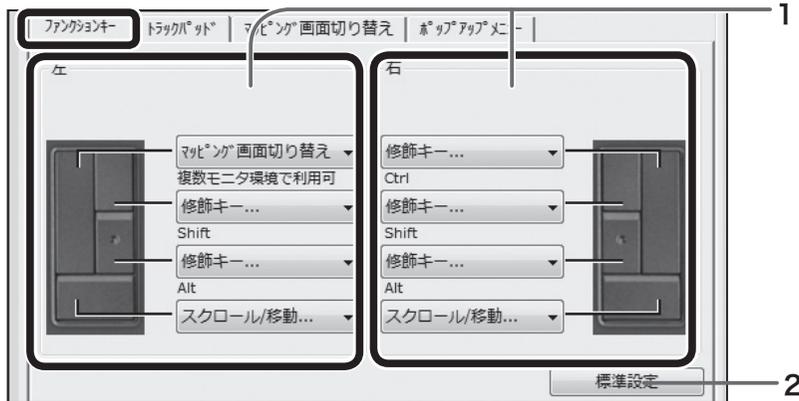
ポインタの速度を調整することができます。

番号	設定項目	内容
1	ポインタの加速	ポインタの移動距離をスピードに応じて変化させます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・OFF　:ポインタの加速幅をより小さく設定します (「OFF」にすると、ポインタは加速されません)。 ・大きい : ポインタの加速幅をより大きく設定します。
2	ポインタの速度	ポインタの速度を 9 段階に設定できます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・遅い : ポインタの速度をより遅く設定します。 ・速い : ポインタの速度をより速く設定します。
3	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

エクスプレスパッドの設定を変更する

エクスプレスパッドの設定を変更する場合、入力デバイスの「ファンクション」をクリックします。ダイアログ下のタブが「ファンクションキー」、「トラックパッド」、「ポップアップメニュー」に変わります。

ファンクションキーの設定を変更する

「ファンクションキー」タブをクリックします。

ファンクションキーには、キーストロークを設定して、アプリケーションでよく使うショートカットを設定しておくと便利です。

※「マッピング画面切り替え」タブはマルチモニタ環境の場合に表示されます。

番号	設定項目	内容
1	左ファンクションキーの設定 右ファンクションキーの設定	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。機能の詳細は「スイッチとボタンの設定」(▶本書 20 ～ 22 ページ) をご覧ください。
2	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

ファンクションキーにキーストロークを選択して、アプリケーションでよく使うショートカットを設定しておくと便利です。以下は Photoshop 7.0、Illustrator 10、Painter Essential 2 での例です。

Photoshop 7.0

機能	ショートカットキー
選択を解除	[Ctrl]/[⌘]+[D]
選択範囲の反転	[Ctrl]/[⌘]+[Shift]+[I]
選択範囲を隠す	[Ctrl]/[⌘]+[H]

Illustrator 10

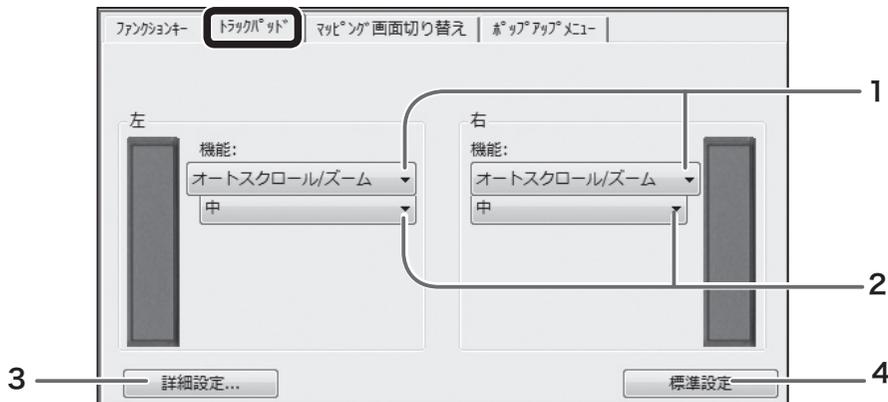
機能	ショートカットキー
1 つ前の作業に戻る	[Ctrl]/[⌘]+[Z]
コピー	[Ctrl]/[⌘]+[C]
ペースト	[Ctrl]/[⌘]+[P]

Painter Essential 2

機能	ショートカットキー
取り消し	[Ctrl]/[⌘]+[Z]
ブラシツール	[B]
シェイプ選択ツール	[H]

補足　[Ctrl]/[⌘] は、Windows の場合は [Ctrl]、Maintosh の場合は [⌘] を設定します。

トラックパッドの設定を変更する

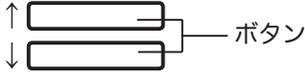
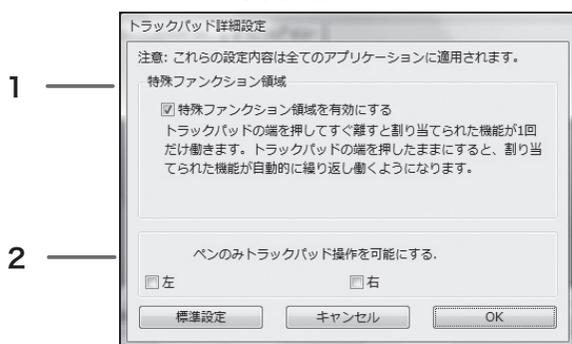
「トラックパッド」タブをクリックします。

※「マッピング画面切り替え」タブはマルチモニタ環境の場合に表示されます。

番号	設定項目	内容
1	機能	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。機能の詳細は下記をご覧ください。
2	スクロールスピード	「▼」をクリックして、スクロールのスピードを設定します。
3	詳細設定	「トラックパッド詳細設定」ダイアログが表示されます。▶次ページ参照
4	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

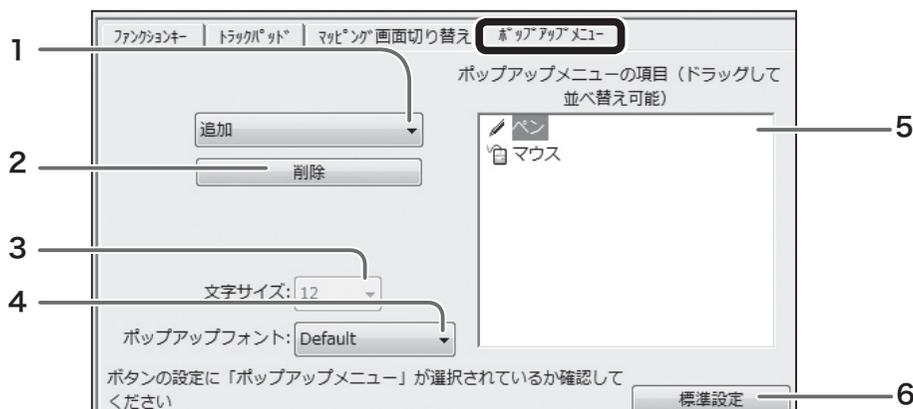
■ トラックパッドに設定できる機能

機能	内容	オプション項目
オートスクロール / ズーム	ほとんどのグラフィックアプリケーションでズーム機能が働きます。その他のアプリケーションではスクロール機能が働きます。 【注意】グラフィックアプリケーションのなかには、ズーム機能が働かないものもあります。	スクロールスピードを次の7つから選ぶことができます。 ・とても遅い　：スクロール、ズーム操作がとてもゆっくりになります。 ・遅い　：スクロール、ズーム操作がゆっくりになります。 ・中　：いつも通りの速さでスクロール、ズーム操作を行います。 ・速い　：スクロール、ズーム操作を速くします。 ・とても速い　：スクロール、ズーム操作をとても速くします。 ・ページ　：ページ単位でスクロールします。
スクロール	スクロール操作だけ行います。 【補足】アプリケーションによっては、スクロールがズームとして働くことがあります。完全にスクロールが無視されることもあります。	●スクロールスピードを次の7つから選ぶことができます。 ・とても遅い　：スクロール、ズーム操作がとてもゆっくりになります。 ・遅い　：スクロール、ズーム操作がゆっくりになります。 ・中　：いつも通りの速さでスクロール、ズーム操作を行います。 ・速い　：スクロール、ズーム操作を速くします。 ・とても速い　：スクロール、ズーム操作をとても速くします。 ・ページ：ページ単位でスクロールします。 ●スクロールしながら、以下のキーを押すことができます。アプリケーション内でのズーム操作や他の動作を作成するのに使えます。 ・Windows：「Ctrl」、「Alt」、「Shift」 ・Macintosh：「option」、「⌘」、「control」、「shift」

コントロールパネルの使い方

機能	内容	オプション項目
ズーム	ズーム機能のみ働きます。 【補足】アプリケーションによっては、ズームがスクロールとして働くことがあります。完全にズームが無視されることもあります。	なし
キーストローク	キーストロークを設定します。	ボタンを押して、キーストロークを設定します。 キーストロークの設定については、30 ページをご覧ください。 ↑ ↓ ボタン
無効	トラックパッドを無効にします。	なし

■ トラックパッドの詳細設定

番号	設定項目	内容
1	特殊ファンクション領域	トラックパッドの「連続操作」、「１回のみの操作」を使用しない場合は、「特殊ファンクション領域を有効にする」のチェックをはずします。
2	ペンのみ使用	チェックすると指先での操作が無効になり、トラックパッドがペンで操作できるようになります。 ・左：左側のトラックパッドが指先で操作できなくなります。 ・右：右側のトラックパッドが指先で操作できなくなります。

ポップアップメニューの設定を変更する

ポップアップメニューに表示される機能を設定します。

※「マッピング画面切り替え」タブはマルチモニタ環境の場合に表示されます。

番号	設定項目	内容
1	ポップアップメニューの機能	ポップアップメニューに表示される機能を設定することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。「キーストローク」、「開く／起動」については「スイッチとボタンの設定」(▶本書 20 〜 22 ページ) をご覧ください。
2	削除	右側のポップアップメニューの項目リストから機能を削除します。
3	文字サイズ	文字のサイズを選びます。
4	ポップアップフォント	フォントの種類を選びます。
5	ポップアップメニューの項目	ポップアップメニューに設定した機能が表示されます。
6	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

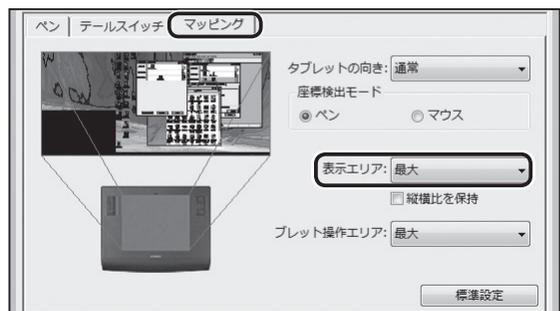
マルチモニタ環境で使う

マッピング画面切り替えは、マルチモニタ環境のみで使用することができます。この機能を使うと、すべてのディスプレイを使用するのか、あるいは 1 つだけのディスプレイを使用して作業するのかを選択できるようになります。

「マッピング画面切り替え」機能を設定する

1 画面上を右クリックして､「個人の設定」→「画面の設定」または「プロパティ」→「設定」を選択し、パソコンをマルチモニタ環境に設定します。

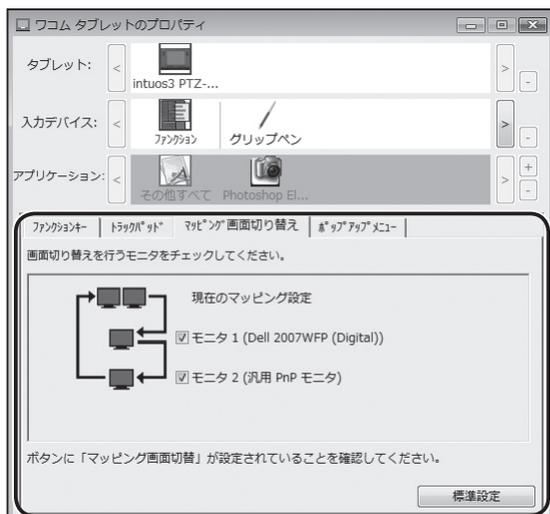
2 マルチモニタ環境で Intuos3 タブレットをパソコンに接続した場合、コントロールパネルの「入力デバイス」リストで「ファンクション」を選択すると、「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。

3 「マッピング」タブで「表示エリア」の設定を確認します（▶本書 25 ページ)。

4 「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーの 1 つに設定します（本書▶ 21 ページ)。

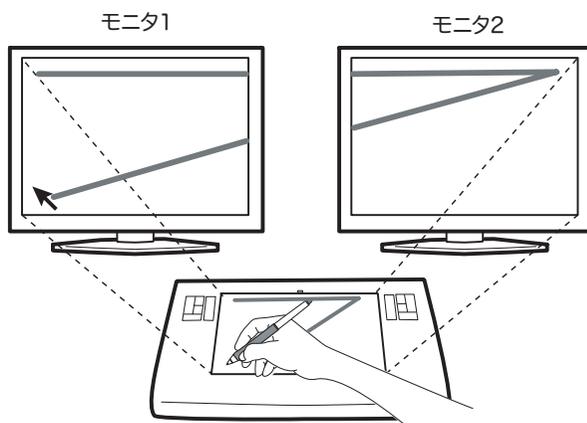
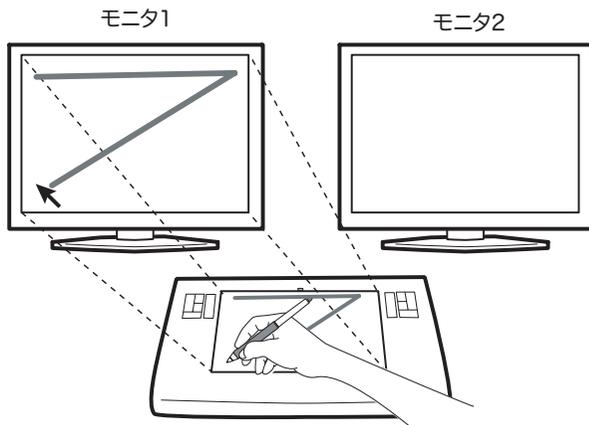
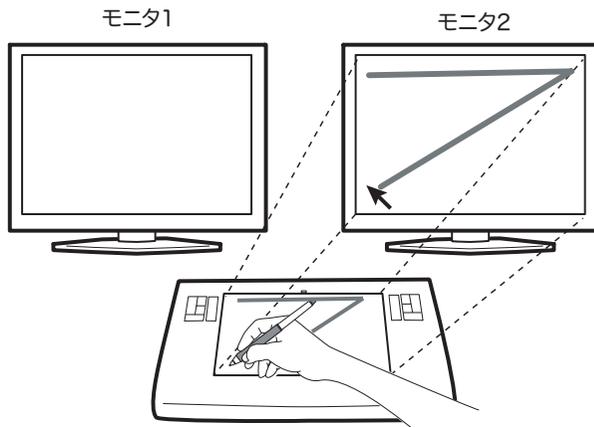
ファンクションキーを押すと、「マッピング」タブで設定されているマッピングと各モニタ間で順番にタブレットのマッピングを切り替えることができるようになります。

5「マッピング画面切り替え」タブで、ディスプレイの切り替わる順番を確認します。

ディスプレイは矢印の順番に切り替わります。モニタ 1、2 のチェック欄からチェックをはずすと、チェックをはずされたモニタは切り替わる順番から除外されます。

「現在のマッピング設定」は、手順 3 で設定した表示エリアの設定を指します。

マルチモニタ環境で作業する

本書 33 ～ 34 ページ「マッピング切り替え機能を設定する」で行った設定により、ディスプレイは以下のように切り替わります。

1「現在のマッピング設定」がタブレット操作面に割り当てられます。
右図は、「現在のマッピング設定」としてモニタ 1 とモニタ 2 を合わせた領域が表示エリアとして設定されています。

2「マッピング画面切り替え」機能を設定したファンクションキーを押します。「現在のマッピング設定」から「モニタ 1」へと表示エリアが切り替わります。

3 「マッピング画面切り替え」機能を設定したファンクションキーを押します。「モニタ 1」から「モニタ 2」へと表示エリアが切り替わります。

4 「マッピング画面切り替え」機能を設定したファンクションキーを押します。「モニタ 2」から「現在のマッピング設定」へと表示エリアが切り替わります。

複数のペンやマウスを使用する

複数のペンやマウスをタブレットで使用することができます。ペンやマウスにはそれぞれ「デバイス ID」が書き込まれており、「デバイス ID」によりペンやマウスは個別に識別されます。例えば、鉛筆ツールで色を青に設定したものをペン 1、筆ツールで色を赤に設定したものをペン 2 とします。デバイス ID 機能をサポートしたアプリケーションソフトの場合、色鉛筆のように、ペン 1 を持つと自動的に鉛筆ツールで青色が選択され、ペン 2 を持つと筆ツールで赤色が選択されます。

特定のペン、またはマウスに対して設定を行う場合、その設定は、設定が行われたペン、またはマウスに対してのみ有効です。同じ種類のペンやマウスには番号が付きます。

ペンやマウスを追加するには、タブレット上で追加するペンやマウスを使用するだけです。追加したペンやマウスは標準設定で働きます。すでに同じペンやマウスがあっても、その設定は適用されません。

ペンやマウスを削除するには、「入力デバイス」リストの右側にある［–］ボタンをクリックします。

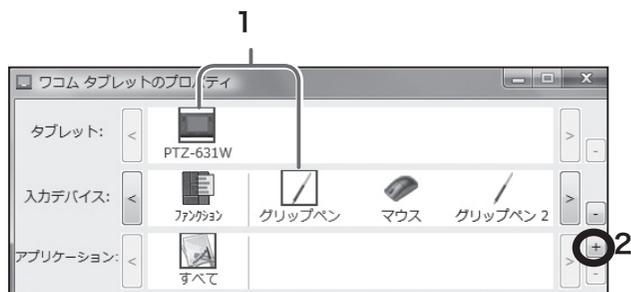
特定のアプリケーションに対する設定

特定のアプリケーションに対する設定を作成する

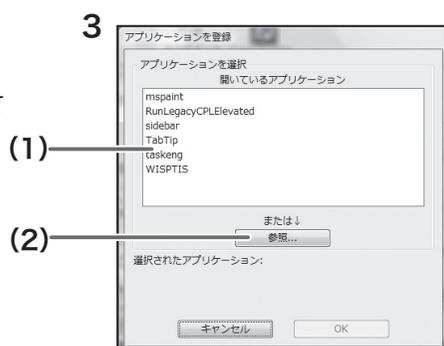
ペンやマウスを、それぞれのアプリケーション専用に設定することができます。例えば、あるアプリケーションではペン先の筆圧を硬めにしたり、他のアプリケーションでは柔らかく設定したりできます。

【手順】

1 タブレットとペンを選択します。

2「+」ボタンをクリックします。

3「アプリケーションを登録」ダイアログボックスで次の方法のうちどちらかでアプリケーションを選択します。

（1）設定を作成するアプリケーションを開くと、「開いているアプリケーション」ボックスにアプリケーション名が表示されます。アプリケーションを選択します。

（2）「参照」を選択して、アプリケーションの実行ファイルを選択します。

4 ペンを「入力デバイスリストから選択します。追加したアプリケーションのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。「すべて」アイコンは、「その他すべて」アイコンに変わります。

＊ 上記の例で、「その他すべて」アイコンは Photoshop と Painter 以外のアプリケーションの「ペン」の設定に適用されます。Photoshop と Painter には個別の設定が適用されます。

特定のアプリケーションに対する設定を変更する

ペン、またはマウスとアプリケーションを選択して、表示されるタブの内容を変更します。

特定のアプリケーションに対する設定を削除する

1「入力デバイス」リストから、特定のアプリケーションに対する設定を削除するペン、またはマウスを選択します。次に、「アプリケーション」リストで、削除するアプリケーションを選択します。

2「アプリケーション」リストの［－］ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されますので、「削除」をクリックします。アプリケーションは作成したペン、またはマウスの設定といっしょにリストから削除されます。

補足　ペン、またはマウスから特定のアプリケーションに対する設定を削除するには、「入力デバイス」リストからペンやマウスを削除します。次にタブレットの上に戻すと、ペン、またはマウスは標準設定の状態で追加されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、以下の表をご覧ください。
解決しそうもないトラブルがありましたら、弊社のサポート窓口（▶裏表紙参照）にお問い合わせください。「Read Me.rtf」（お読みください）に書かれている内容が参考になることもあります。

・お客様ご自身での修理はご遠慮ください。
・一度分解されますと、保証期間内でも有償修理になります。

一般的なトラブル

症　状	処　置
アプリケーションソフトの DVD-ROM をセットしたが､インストールが始まらない。	DVD-ROM の中のフォルダを開いてください。付属アプリケーションのインストールガイドの説明に従って､インストールしてください。
タブレットドライバをインストールしたのに、絵が描けない。	タブレットは、マウスの代わりに使用する入力機器であるため、タブレットだけではポインタ操作しか行うことができません。絵を描くためのアプリケーションソフトが必要になります。タブレットに付属しているアプリケーションソフト等をお使いください。
タブレットをインストールした後、コンピュータが起動しないことがある。	タブレットの上にペンなどが置かれていると、コンピュータが起動しないことがあります。起動時には、タブレットの上に物を置かないようにしてください。
入力デバイスの設定を変えたはずなのに変わっていない。	コントロールパネルを開いて、使用中のアプリケーションで使用する入力機器の設定を変更したかを確認してください。
コンピュータを買い替えたり、新しいソフトウェアを使ったらタブレットが使えなくなった。	最新版のタブレットドライバをインストールすると、解決することがあります。最新版のタブレットドライバはホームページからダウンロードできます。 ▶ http://tablet.wacom.co.jp/
USB ハブにタブレットを接続しているが、動作しない。	USB ハブの機種によってはタブレットが認識できない場合があります。 コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してください。
写真や絵をタブレットに置いてトレースしたが、印刷したとき、元の写真や絵と同じ大きさにならない。	元のデータと全く同じサイズで出力するのは、非常に難しいです。スキャナ等で写真や絵をパソコンに取り込んでいただき、作業されることをお勧めいたします。なお、タブレットでは、大きさの一致はできませんが、比率を合わせることは可能です。コントロールパネルの「マッピング」のタブで「タブレットとの関係」の設定を「縦横比を保持」にチェックを入れてください。

ペン先や消しゴム、サイドスイッチが正しく働かない（Windows・Macintosh 共通）

症　状	処　置
ペン先や消しゴムが少し触れただけでもクリックしてしまう。	コントロールパネルでペン先や消しゴムの感触をより「硬い」設定にしてください。
かなり力を入れないとクリックできない。	コントロールパネルでペン先の感触をより「柔らかい」設定にしてください。
ペン先が触れる前にクリックしてしまう。	コントロールパネルでペン先の感触をより「硬い」設定にしてください。 ペン先を操作面に近づけただけでステータスランプが青色に変わるときは、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。

症　状	処　置
ペン先やサイドスイッチが利かない。	ペン先やサイドスイッチを押したとき、ステータスランプが青色に変わることを確認してください。変わらなければ、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。
サイドスイッチが利かない。	コントロールパネルでサイドスイッチが「無効」になっていないか確認してください。
ペン先でダブルクリックができない。	●できるだけ同じ場所を速くクリックしてください。 ●サイドスイッチやセカンドサイドスイッチを 1 回押してダブルクリックするように設定することもできます。 ●コントロールパネルで、ダブルクリック距離を大きくしたり、ペン先の感触を柔らかく設定してください。 ●通常のマウスのコントロールパネルで、ダブルクリックのスピードが速すぎないか確認してください。
筆圧機能や消しゴム機能が使えない。	ご使用のアプリケーションが筆圧や消しゴムの機能に対応しているかどうか、ソフトウェアの説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧や消しゴムの機能を有効にするための設定が必要なものがあります。 タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてみてください。

画面表示やポインタのトラブル（Windows・Macintosh 共通）

症　状	処　置
通常のマウスを使うとポインタが引き戻される。	Intuos3 のペンまたはマウスを操作面の上に置くと、Intuos 以外の入力デバイス（通常のマウスなど）でポインタを動かせなくなります。入力デバイス（ペンまたはマウス）をタブレットの横に置くか、ペンスタンドをお使いください。
写真や絵などをなぞって、アプリケーションの描画エリアに入力したいが、はみだしてしまう。	タブレットの操作面全体の少し内側のエリアが画面全体に対応していますので、操作面全体を使ってなぞって入力することはできません。画面上の描画エリアが、操作面のどの部分に対応するかを確認し、そのエリアだけを使用してください。
タブレットで描いた絵の縦横比が異なって表示される。	「マッピング」のタブで「縦横比を保持」のチェックボックスにチェックを入れてください。
線の引き始めに、表示が遅れることがある。	コントロールパネルのペンのダブルクリック距離を小さくしてみてください。あるいは、通常のマウスのコントロールパネルで、ダブルクリックの速度を速くしてください。
画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。	モニタ（ディスプレイ）の設定によっては、タブレットが電磁波の影響を受けることがあります。 ●タブレットをモニタから 30cm ほど離してみてください。 ●リフレッシュレートや解像度を変えてみてください。
・ポインタを思い通りの場所に動かせない ・ポインタの位置からずれて描画される ・全く描画されない	・ペンまたはマウスのコントロールパネルで「標準設定」をクリックしてお買い上げの時の設定に戻してください。 ・上の方法で回復しないときは、OS に応じて以下の操作を行ってくだい。 ●Windows: スタートメニュー→プログラム→ Wacom タブレット→タブレット設定ファイルユーティリティを開き、ログインユーザーまたは全てのユーザーの設定ファイルを削除してください。(全てのユーザーの設定ファイルを削除する場合は、管理者権限が必要です。) ● Macintosh: アプリケーションフォルダのワコムタブレットフォルダにある「ワコムタブレットを外す」を起動します。「全ての設定ファイルを削除」のボタンをクリックして設定ファイルを削除してください。

Windows でのトラブル

症　状	処　置
タブレットのステータスランプが点灯しない。	● USB コネクタの接続を確認してください。USB ハブに接続してお使いの場合は、コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してみてください。 ● デバイスマネージャの、「不明なデバイス」の中に Intuos3 の型式がある場合は、このリストから選択し削除ボタンをクリックして、すべての設定から削除してください。次に、更新ボタンをクリックしてください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが出てきたら、それに従って、タブレットドライバを再インストールしてください。 ● USB ポートが有効になっている場合は、「コントロールパネル」フォルダの「システム」を開き「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」の順に開いて、表示されるリストの中に「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」があることを確認してください。もしなければ、お使いのコンピュータを調整する必要があります。コンピュータメーカーにご相談ください。
・ ステータスランプが点灯しているが、タブレットが使えない。 ・ ペンでクリックすると、ポインタが消えてしまう。	● タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。再インストールしてください。 ▶本書 10 〜 11 ページ ● ノート PC のタッチパッドやデスクトップ PC のキーボードボタンなどの入力装置がある場合、または特別なマウスなどを使用していて、標準以外のマウスドライバやキーボードドライバが PC にインストールされている場合、タブレットドライバとコンフリクト (機能衝突) が起きることがあります。デバイスマネージャ (「コントロールパネル」⇒「システム」⇒「ハードウェア」) を開いて、標準のものを使用してみてください。あるいは、再インストールできる場合は、一度アンインストールして標準のドライバを使用してみてください。
ホイールでスクロールできない。 ペンでクリックすると、画面のポインタが画面の外へ出てしまう	ノート PC のタッチパッドやデスクトップ PC のキーボードボタンなどの入力装置がある場合、または特別なマウスなどを使用していて、標準以外のマウスドライバやキーボードドライバが PC にインストールされている場合、タブレットドライバとコンフリクト（機能衝突）が起きることがあります。デバイスマネージャ(「コントロールパネル」⇒「システム」）を開いて、標準のものを使用してみてください。あるいは、再インストールできる場合は、一度アンインストールして標準のドライバを使用してみてください。

症　状	処　置
ポインタが画面の左上に飛ぶ。あるいは、コントロールパネルに「Unable to implement function」というエラーメッセージが現れる。	以前に他社製タブレットを使用されていた場合、そのタブレットドライバがまだシステムに残っているかもしれません。そのタブレットドライバをアンインストールしてください。アンインストールの方法については、使用していたタブレットの説明書を参照してください。
ポインタの動きがペン先の動きより遅れる。	以下の順に設定を変えて試してください。 1. Windows のコントロールパネルから「マウス」→「ポインタオプション」の順に開き、「ポインタの軌跡を表示する」のチェックを外す。次に「ポインタ」タブをクリックし、「デザイン」を「標準の組み合わせ（システム設定)」にする。 2. 1. で回復しない場合は、表示色数を減らす。また、コントロールパネルから「システム」→「詳細設定」の順に開き、「パフォーマンス」の「設定」をクリックし、「視覚効果」の「パフォーマンスを優先する」にチェックを付ける。 Windows Vista の場合は以下もご確認ください。 ・「コントロールパネル」→「ペンと入力デバイス」→「フリック」タブで、「フリックを使用してよく実行する操作を素早く簡単に行う」のチェックをはずしてください。
Windows 上でフルスクリーンモードの DOS を使用中、ペンでポインタを動かせない。	DOS マウスを使用中には、ペンはお使いになれません。マウスで操作してください。
通常のマウスのコントロールパネルで左利き用に設定したら、ペン先でクリックできなくなった。	Windows を再起動してください。
ジェスチャー機能が動作し描画ができない (Windows Vista をお使いの場合)	「コントロールパネル」→「ペンと入力デバイス」→「フリック」タブで、「フリックを使用してよく実行する操作を素早く簡単に行う」のチェックをはずしてください。

Macintosh でのトラブル

症　状	処　置
ステータスランプが点灯しない。	● USB コネクタの接続を確認してください。コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してください。 ● USB カードを装着している場合、システムソフトウェアが正しくインストールされていないことが考えられます。 ● Intuos3 以外のフルスピード、ハイパワーの USB 周辺機器があれば接続して、コンピュータ本体の USB ポートが正しく動作するかどうか確かめてみてください。動作する場合はタブレットの故障が考えられます。
マウスモードにしかならない。筆圧も使えない。	タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてください。本書▶ 10 ～ 11 ページ

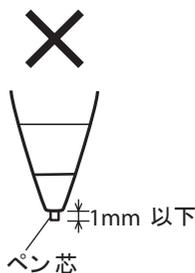
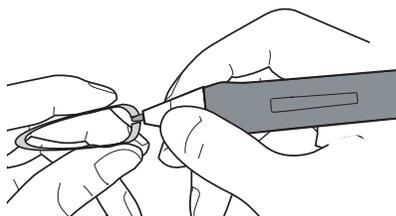
付　録

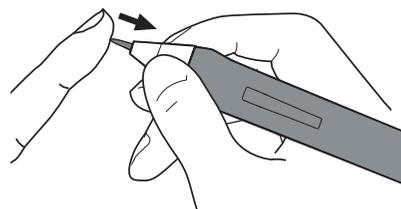
汚れを落とす

本機のケース部分やペンが汚れたら、清潔な柔らかい布で拭いてください。
汚れが落ちない場合は、ぬるま湯や水を清潔な柔らかい布にふくませ、固く絞ってから拭いてください。

洗剤は使わないでください。洗剤をお使いになりますと書き味が損なわれることがあります。また、アルコールなどの有機溶剤を使わないでください。表面が変色することがあります。

ペン芯の交換

電子ペンを使っていると徐々にペン先が磨耗していきます。使いにくくなりましたら、図のようにペン芯を交換してください。

ペンの芯を抜く

毛抜きなどで、芯を抜いてください。

新しい芯を差し込む

替え芯を、止まるまでしっかり差し込んでください。

お子さまが、電子ペンや芯を口の中に入れないようにご注意ください。芯が抜けて飲み込む恐れがあります。電子ペンを口の中に入れると、故障の原因になります。

オプション品のご案内

●替え芯
本製品には替え芯が３種類付属しています。替え芯は必要に応じてお買い求めいただくことができます。

標準芯	標準で装備されている白い芯です。（5 本入り）
フェルト芯	摩擦係数が高く、より鉛筆に近い感触が得られます。（5 本入り）
ストローク芯	ペン先が約 1mm 沈みます。絵を大きく描きたい場合に、よりブラシに近い感触を得ることができます。（5 本入り）

注意

・フェルト芯は標準芯よりも早く摩耗します。
・ペン芯は力を入れすぎると、早く摩耗します。最大筆圧は400gです。それ以上力を入れて使うと芯の寿命が短くなります。

●ラバーグリップ
ラバーグリップは交換可能です。ラバーグリップは2種類あります。

サイドスイッチ用穴無し	サイドスイッチを取り外した場合にお使いいただけます。（2本入り）
サイドスイッチ用穴有り	サイドスイッチを付けてペンを使う場合にお使いいただけます。（2本入り）

●オーバーレイシート
操作面に貼ってあるオーバーレイシートは交換可能です。オーバーレイシートは3種類あります。機種によってラインアップが異なる場合があります。詳しくは「ワコムストア」のホームページをご覧ください。

標準タイプ	標準で添付されています。
マットタイプ	摩擦係数が高くなり、より紙に近い感触を得ることができます。
透明タイプ	トレースに便利です。

補足

上記のオプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。ワコムストアをご利用いただくには、ワコムクラブ会員に登録する必要があります。登録については、本書の裏表紙をご覧ください。

「ワコムクラブ」へは以下のホームページからご登録ください。

http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/

オンラインマニュアルのご案内

本製品のタブレットドライバをインストールすると、オンラインマニュアル（電子マニュアル）を見ることができます。オンラインマニュアルではタブレット、ペン、エクスプレスパッドの機能や使い方をより詳細に説明しています。

また、エアブラシやインクペンなどのオプション品の機能や使い方の説明、タブレットの正常な動作を確認する方法なども掲載されています。

オンラインマニュアルを見る

タブレットドライバCD-ROMに収録されているマニュアルはPDFファイル形式で作成されています。PDFファイルを開くには、「Adobe Reader」が必要です。

オンラインマニュアルはコンピュータ画面でご覧いただけますが、印刷してご覧いただくこともできます。オンラインマニュアルの大きさは、A4サイズです。

オンラインマニュアルを開くには、Windowsでは、「すべてのプログラム」→「ワコムタブレット」→「マニュアル」を選択します。Macintoshでは、「Finder」の「移動」メニュー→「アプリケーション」→「ワコムタブレット」→「User's Manual-JP.pdf」を選択します。

お問い合わせ用紙／修理依頼票

FAX 03-5309-1514 カスタマーサポート行き

コピーしてお使いください。お手数をおかけいたしますが、迅速かつ確実な対応のために、必要事項をご記入願います。

□初めての修理

□再修理

フリガナ お名前	様	TEL: FAX:	日中の連絡先 TEL:
ご住所	〒		

タブレット型式	PTZ-	シリアル番号
お買上店名		お買上日　年　月　日

発生日時 / 頻度について、ご記入ください。

初めて故障した日	年　月　日
故障が発生するとき	電源オン時・使用開始直後・使用開始後　分 / 時間してから・電源オフ時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間 /　日に　回）・まれ（　週間に　回）

症状やエラーメッセージなど、故障内容について具体的にご記入ください。

ご使用のコンピュータと周辺機器についてご記入ください。

コンピュータ	メーカー名：	モデル名：

	メーカー名：	機種名：	接続ポート：
他の USB 機器			
USB ハブ			
ディスプレイ			
ビデオカード			
その他			

故障発生時、使用していたソフトウェアをご記入ください。

OS	□ Windows Vista □ Windows XP　□ Windows 2000 □ Mac OS (Ver.　)
タブレットドライバ	Windows・Macintosh　Ver.
アプリケーション	名称　Ver.

ここに記入されたお客様の個人情報は、お客様へのサポート、及び修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

UJ-0282(G)

アフターサービスのご案内

●ワコムのインターネットホームページ　http://tablet.wacom.co.jp/

各種製品情報、最新版タブレットドライバのダウンロード、よくお寄せいただくご質問とその回答、キャンペーン情報などを掲載したワコムのホームページです。

●ワコムクラブ / ワコムストアのご案内

WACOM CLUB について
WACOM CLUB はワコムペンタブレットユーザ様限定の会員サービスです。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/
会員になると、弊社からの最新情報をお届けする他、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」で付属品、オプション品、グラフィックソフトなどをご購入いただけます。

●サポート窓口のご案内

インターネット FAQ http://tablet.wacom.co.jp/support/	皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。ワコムのホームページから「サポート」→「FAQ& お問い合わせ」を選択してください。アクセスできます。 インターネット FAQ より解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。 また、ワコムクラブ会員になると、会員向け用 FAQ をご覧いただけます。さらに詳しい技術情報が掲載されています。
FAX によるサポート **FAX:03-5309-1514** **(カスタマーサポート)**	製品に関するご質問、ご相談に FAX でお答えします。 お問い合わせ用紙 *1 に正確にご記入の上、お送りください。FAX*2 にて折り返しご連絡します。
電話によるサポート **0570-05-6000**	製品に関するご質問、ご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 *3　9 時～ 20 時　土曜日 10 時～ 17 時（日・祝日休み） お問い合わせ用紙 *1 の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ（株）のサービスです。ダイヤル Q2 などの有料サービスではありません。この番号におかけいただいた場合は、電話の接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前に知ることができます。 PHS 及び IP 電話からはご利用いただけません。また、NTT 以外の電話会社の場合、この番号をご使用いただけない場合があります。以下の電話番号をご利用ください。 TEL:03-5309-1510

●修理依頼先のご案内

上記のサポート窓口からサポートセンターへお問い合わせください。サポートセンターで製品が故障かどうかを確認させていただきます。故障の場合は、製品の送付先をご案内いたします。

*1 ユーザーズガイドの巻末に綴じ込まれています。
*2 電子メールや FAX によるお問い合わせに対しては、弊社営業時間内に回答をさしあげます。内容により数日かかることがあります。
*3 弊社の休日を除きます。

Intuos®3 ユーザーズガイド
2004 年 8 月　　第 1 版発行
2007 年 9 月　　第 8 版発行

Printed in China